

I 第36週の発生動向 (2013/9/2~2013/9/8)

- 手足口病については、上十三保健所管内では第28週から、八戸保健所管内では第30週から、東地方+青森市保健所管内では第32週から、むつ保健所管内では第34週から**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内では第32週から、むつ保健所管内では第34週から、東地方+青森市保健所管内では第35週から**警報**が継続しています。

II 第36週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 +内科 (85) インフルエンザ															0					
小児科	(74) RSウイルス感染症			3	0.3	1	0.1			1	0.2	1	0.3	6	0.1	-4				
	(75) 咽頭結膜熱									1	0.2			1	0.0	1				
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.5	1	0.1	1	0.1	1	0.2	3	0.5			10	0.2	1			4	0.5
	(77) 感染性胃腸炎	6	0.8	10	1.1	1	0.1	5	1.0	2	0.3	7	1.8	31	0.8	-1			6	0.8
	(78) 水痘	2	0.3			3	0.3	1	0.2	2	0.3	1	0.3	9	0.2	-5			2	0.3
	(79) 手足口病	60	7.5	36	4.0	54	6.0	3	0.6	65	10.8	26	6.5	244	6.0	-7			60	7.5
	(80) 伝染性紅斑															-2				
	(81) 突発性発しん	7	0.9	3	0.3	2	0.2			6	1.0			18	0.4	2			7	0.9
	(82) 百日咳															0				
	(83) ヘルパンギーナ	43	5.4	53	5.9	4	0.4	8	1.6	31	5.2	17	4.3	156	3.8	-12			43	5.4
(84) 流行性耳下腺炎			11	1.2	1	0.1	1	0.2	1	0.2	2	0.5	16	0.4	-3					
眼科	(86) 急性出血性結膜炎															0				
	(87) 流行性角結膜炎	2	1.0	2	0.7	1	0.5							5	0.5	-4			2	1.0
基幹	(92) クラミジア肺炎															0				
	(93) 細菌性髄膜炎															0				
	(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	3	3.0							5	0.8	0				
	(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患): 青森市3人、弘前2人、八戸1人、上十三1人 (2013年計:216人)
- (64) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): 上十三1人 (2013年計:3人)
- (68) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2013年計:2人)

IV 病原体検出情報

検出情報は、ありませんでした。



重症熱性血小板減少症候群 (四類全数把握疾患)

(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS)

マダニ媒介性の重症熱性血小板減少症候群は、2013年春(マダニの活動開始期)以降、28名の患者が確定され(8月26日時点)、遡り調査も含めると、九州・四国・中国・近畿地方の13県から報告されています。

国内におけるSFTSウイルスを媒介するマダニの種類や生息地域、ウイルス保有率、動物との相互関係等の実態は明らかではありません。

2013年5月から、中国、四国、近畿及び中部地方の9自治体のいくつかの地点で実態調査を行い、フタトゲチマダニ、ヒゲナガチマダニ、オオトゲチマダニ、キチマダニ及びタカサゴキララマダニから、SFTSウイルス遺伝子が検出されました。既に患者が確認された島根、山口、徳島、高知、兵庫県だけでなく、患者が報告されていない和歌山、福井、山梨、静岡県でも確認されました。今回の調査は、限られた期間、限られた地点で実施されており、全国の実態を反映したのではなく、得られた結果は暫定的なものです。

予防のため、マダニが生息する草むらなどに立ち入る場合は、長袖・長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくする注意が必要です。屋外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認し、発見した場合は医療機関を受診して下さい。(参考:厚生労働省ホームページ)



図 タカサゴキララマダニ (国立感染研昆虫医科学部提供)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況

2013年第21週～第36週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人		つつが虫病2人 風しん1人	
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵袭性肺炎 球菌感染症1人	バンコマイン耐性 腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人 クロイツフェルト・ヤコブ 病1人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人
28	H25.7.8 ~ H25.7.14	腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症3人			腸管出血性大腸菌感 染症2人	
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	つつが虫病1人					
30	H25.7.22 ~ H25.7.28		腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人 レジオネラ症1人			
31	H25.7.29 ~ H25.8.4		腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人		
32	H25.8.5 ~ H25.8.11						
33	H25.8.12 ~ H25.8.18		腸管出血性大腸菌感 染症1人				
34	H25.8.19 ~ H25.8.25		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感 染症2人			
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	腸管出血性大腸菌感 染症2人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 侵袭性インフルエンザ 菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	E型肝炎1人		
36	H25.9.2 ~ H25.9.8		劇症型溶血性レンサ球 菌感染症1人			アメーバ赤痢1人	

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第29週～第36週

単位：人

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	1	1	1	1	1	
30	H25.7.22 ~ H25.7.28	1		3	1	1	
31	H25.7.29 ~ H25.8.4	1	1	1	1	2	2
32	H25.8.5 ~ H25.8.11	4	2			1	
33	H25.8.12 ~ H25.8.18				1		
34	H25.8.19 ~ H25.8.25			1	2	1	
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	1	1	1			
36	H25.9.2 ~ H25.9.8	3	2	1		1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

分類	(2013年第1週～第34週累計)																					
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
疾病名	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクサツウイルス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	
累積報告数	1	17214	2	92	2305	39	35	84	95	12	7	3	3	35	9	142	140	68	2	28	7	
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クワトス(ポト)ジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎	侵袭性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎	髄膜炎
累積報告数	2	674	9	671	183	253	11	136	139	972	45	64	15	537	12	767	87	39	13846	189	2	

青森県

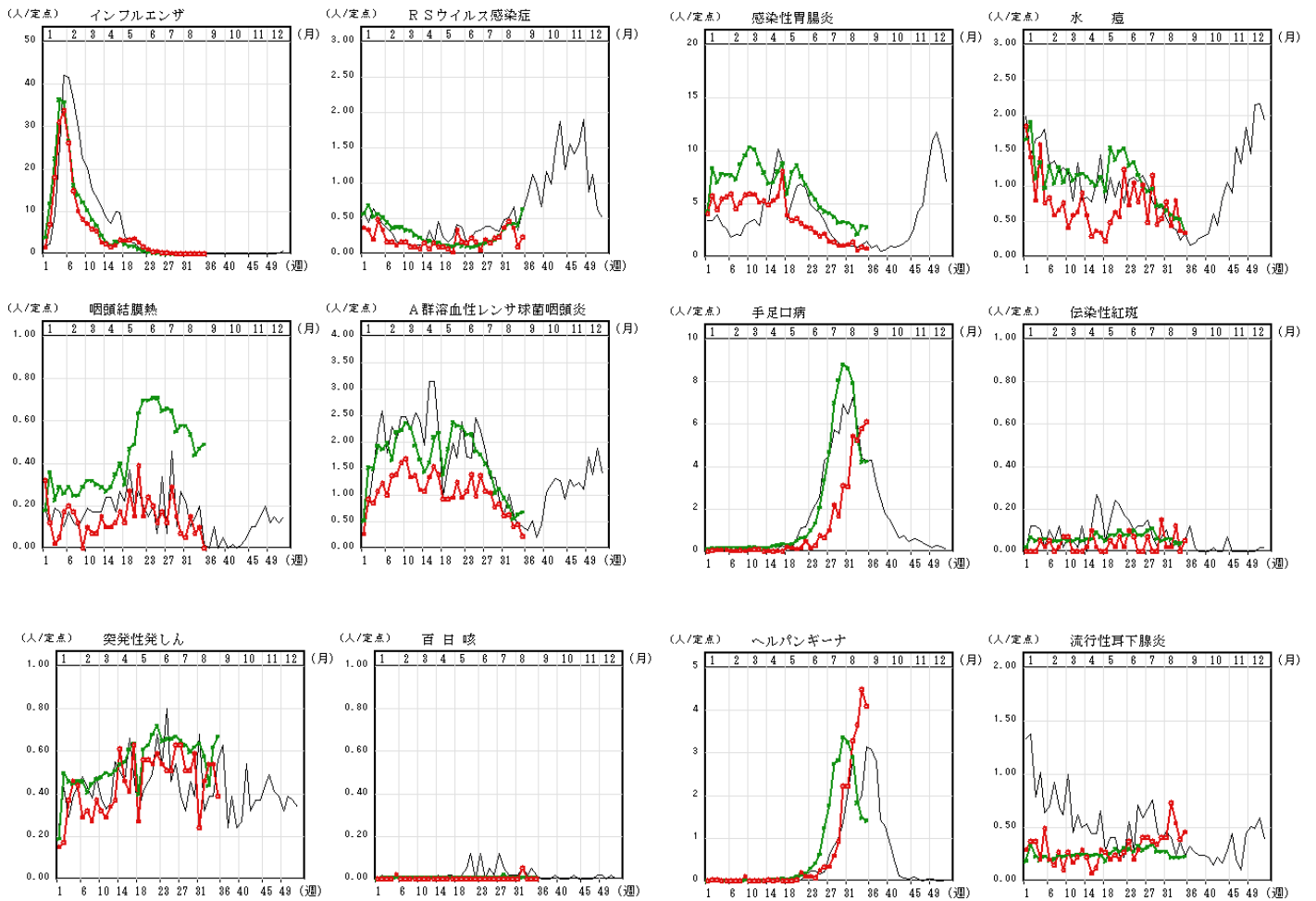
(2013年第1週～9月9日15時30分累計)

分類	(2013年第1週～9月9日15時30分累計)															
	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん
累積報告数	216	41	3	16	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	8

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

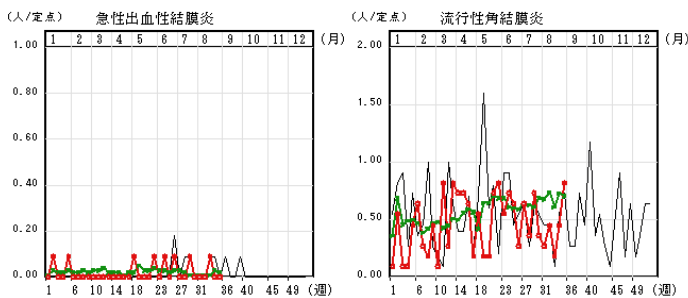
2013年第35週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第35週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第35週

